

こんげつ ひとこと
～～～今月の一言～～～

ひっしやめい おおにし
筆者名 大西

さだまさしさんの歌に、「風に立つライオン」という曲があります。海外で活躍する若い
医師の、頑張ろうという決意とさよならの気持ちを歌った曲です。千鳥ヶ淵の夜桜を僕は見
たことはありませんが、夜空の下の月や桜や池の景色が目に浮かぶようなとてもいい歌だ
と思います。

この歌の主人公のように僕は若くもありませんが、同じように去っていく事になりました
1人では数えられないぐらい多くの思い出とともに、新宿福作での経験はひとつの基準と
なって、次に行く作業所でも多くのことを学ばせてくれるのだと思います。皆さんから教え
られたことが新しい場所でも生きてくるのだと思うと、とても心強く感じ、感謝の気持ち
でいっぱいになります。

センターの桜も咲く頃になりました。晴れた日に利用者さんが来るのをそこで待ってい
たことを思い出します。色々な気持ちを含みながらも桜というものは綺麗なもので、去っ
ていく人を見送り、来る人を迎えてくれる温かいものです。この花を見るたびに皆さんが、
過去の出来事を懐かしく思い出し、新しい出来事も楽しみをもって迎えられることを願っ
ています。長い間本当にお世話になりました。それではまた、旅行で会いましょう！